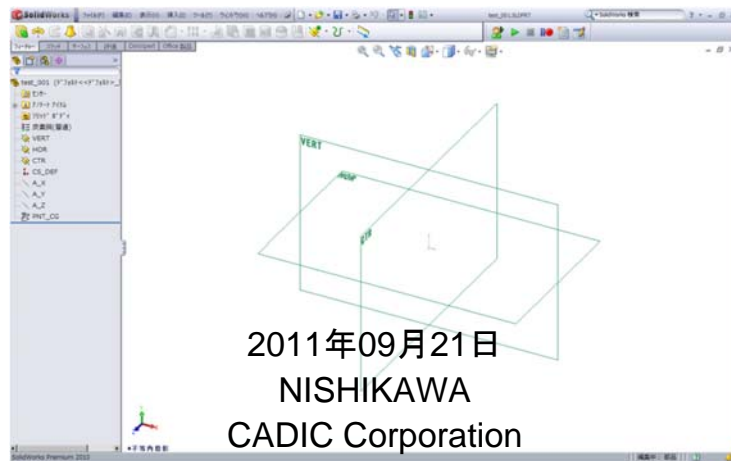


SolidWorks 2011 環境設定資料



データフォルダ

1. フォルダ構成について

- 作業フォルダ (sw001、sw002、sw003、...) を研修に必要な人数分だけ作成します。
 - ◆ フォルダの名前は任意ですが、上記のように判別しやすい連番が良いと思います。
- 作成した作業フォルダには、ログインアカウントごとにアクセス権を設定して下さい。
 - ◆ 例えば、sw001 というフォルダには、ログインアカウント sw001 のユーザのみが読み書きOK、他のユーザ Everyone は読み取りのみ、に設定することです。
- データサーバにはサーバソフトがインストールされたパソコンを使用して下さい。
 - ◆ 専用のサーバが用意できないときは、作業用パソコンのうち1台を簡易データサーバとして兼用します。
 - ◆ 簡易データサーバの場合、同時接続できるパソコンは8台程度ですので、注意して下さい。

2. 使用パソコンについて

- OSはWindows で、ドライブは NTFSフォーマットして下さい。受講者1名に1台必要です。

```
サーバ
├── swdata ← 各ユーザはネットワークドライブ (S:¥) で共有する
│   ├── setup (誰でも Everyone 読み書きできるように、アクセス権を設定して下さい)
│   └── project (誰でも Everyone 読み書きできるように、アクセス権を設定して下さい)
│       ├── sw001 (sw001 ユーザのみ読み書きOK、他 everyone は読み取りのみ)
│       ├── sw002 (sw002 ユーザのみ読み書きOK、他 everyone は読み取りのみ)
│       ├── sw003 (sw003 ユーザのみ読み書きOK、他 everyone は読み取りのみ)
│       ├── ...
│       └── sw015 (sw015 ユーザのみ読み書きOK、他 everyone は読み取りのみ)
```

テンプレートファイル

3. テンプレートファイルについて

- 研修で使用するテンプレートファイル setup_sw2011.zip を添付します。
- 添付ファイルを解凍すると以下のフォルダとファイルが作成されます。

```
setup
├── macros
│   └── point_cg.swp (重心位置にスケッチ点を作成、移動するマクロ)
├── master_2011
│   ├── master_2011_asm.asmdot (アセンブリテンプレート)
│   ├── master_2011_prt.prtdot (部品テンプレート)
│   ├── master_2011_drw_a0.drwdot (図面テンプレート A0)
│   ├── master_2011_drw_a1.drwdot (図面テンプレート A1)
│   ├── master_2011_drw_a2.drwdot (図面テンプレート A2)
│   ├── master_2011_drw_a3.drwdot (図面テンプレート A3)
│   ├── master_2011_drw_a4.drwdot (図面テンプレート A4)
│   ├── master_2011_drw_a4v.drwdot (図面テンプレート A4縦)
│   ├── format_2011_a0.drwdrt (図面枠 A0)
│   ├── format_2011_a1.drwdrt (図面枠 A1)
│   ├── format_2011_a2.drwdrt (図面枠 A2)
│   ├── format_2011_a3.drwdrt (図面枠 A3)
│   ├── format_2011_a4.drwdrt (図面枠 A4)
│   └── format_2011_a4v.drwdrt (図面枠 A4縦)
└── master_ebom_2011.sldbomtbt (設計部品表テンプレート)
```

- 添付したテンプレートファイルには重心位置を示すスケッチ点 PNT_CG を作成してあります。
- 重心位置を求める場合、point_cg.swp というマクロを実行すると、質量特性を自動的に実行し、計算された重心位置に PNT_CG という名前のスケッチ点を作成します。PNT_CG がすでに存在する場合は、計算された重心位置にスケッチ点を移動します。

オプション設定

4. ユーザ端末で SolidWorks を起動し、下記のオプションを設定して下さい。

- SolidWorksを起動する前に、環境設定の回復を行います。
 - ◆ [Administrator権限で実施してください。](#)
- ツール／オプション／システムオプション
 - ◆ 一般／寸法配置でスピンボックスを同時に表示 にチェックを入れる。
 - ◆ 一般／ドキュメントの自動最大表示 にチェックを入れる。
 - ◆ 色／システムの色／モデルウインドウ背景／編集／パレットから「白色」を選択。
 - ◆ 色／システムの色／図面、用紙の色／編集／パレットから「白色」を選択。
 - ◆ 色／システムの色／図面、背景／編集／パレットから「白色」を選択。
 - ◆ 色／背景／一色(上のモデルウインドウ背景色) を選択する。
 - ◆ 色／エッジシェイディング表示モードでシェイディングに指定色を使用 にチェックを入れる。
 - ◆ 表示／選択／シェイディング平面表示 にチェックを入れる。
 - ◆ 表示／選択／寸法を画面に対して平坦に表示 にチェックを入れる。
 - ◆ 表示／選択／注記を画面に対して平坦に表示 にチェックを入れる。
 - ◆ パフォーマンス／アセンブリ／構成部品をライトウェイトとして自動ロード にチェックを入れる。
 - ◆ パフォーマンス／アセンブリ／ドキュメント保存時に質量特性を更新 のチェックを外す。
 - ◆ パフォーマンス／アセンブリ／開く際にプレビュー非表示 にチェックを入れる。
 - ◆ 外部参照／読み取り専用で開いた参照ドキュメントは保存しない(修正破棄) にチェックを入れる。
 - ◆ ファイルの検索／ドキュメントテンプレート／追加／S:\setup\master_2011 上に移動(順位を一番上に上げる)
 - ◆ ファイルの検索／部品表のテンプレート／追加／S:\setup 上に移動(順位を一番上に上げる)
 - ◆ ファイルの検索／ユーザー定義プロパティファイル／追加／S:\setup
 - ◆ ファイルの検索／マクロ／追加／S:\setup\macros 上に移動(順位を一番上に上げる)
 - ◆ ファイルの検索／シートフォーマット／追加／S:\setup\master_2011 上に移動(順位を一番上に上げる)
 - ◆ [OK／オプション設定画面を一旦、閉じて下さい。](#)
- ツール／オプション／システムオプション／デフォルトテンプレート
 - ◆ 部品／...参照／S:\setup\master_2011 prt.prt.dot
 - ◆ アセンブリ／...参照／S:\setup\master_2011 asm.asmdot
 - ◆ 図面／...参照／S:\setup\master_2011 drw_a3.drwdot
 - ◆ デフォルトテンプレートを常時使用 にチェックを入れる。
 - ◆ [OK／オプション設定画面を閉じて下さい。](#)
- 新規ファイルの作成を確認します。
 - ◆ ファイル／新規／アドバンス(ビギナーモードになっている場合)
 - master_2011/master_2011_prt/OK

設定画面例は次ページ以降を参照

環境設定の回復

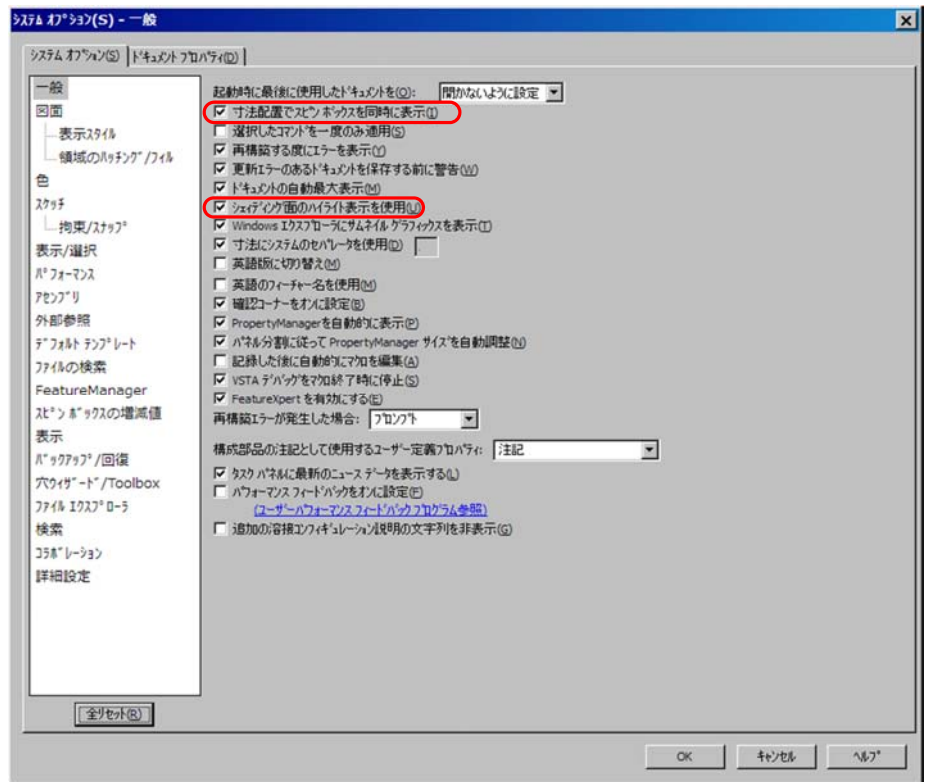
■ 環境設定の回復

- SolidWorks を起動する前に実行して下さい。
- SolidWorks ツール／設定のコピーウィザード／設定の回復／次へ／
- ...参照／保存元を指定(例: S:\setup\swSettings_2011.sldreg)／次へ／
- 現在のユーザ／次へ／完了



■ 一般的なオプションを設定します

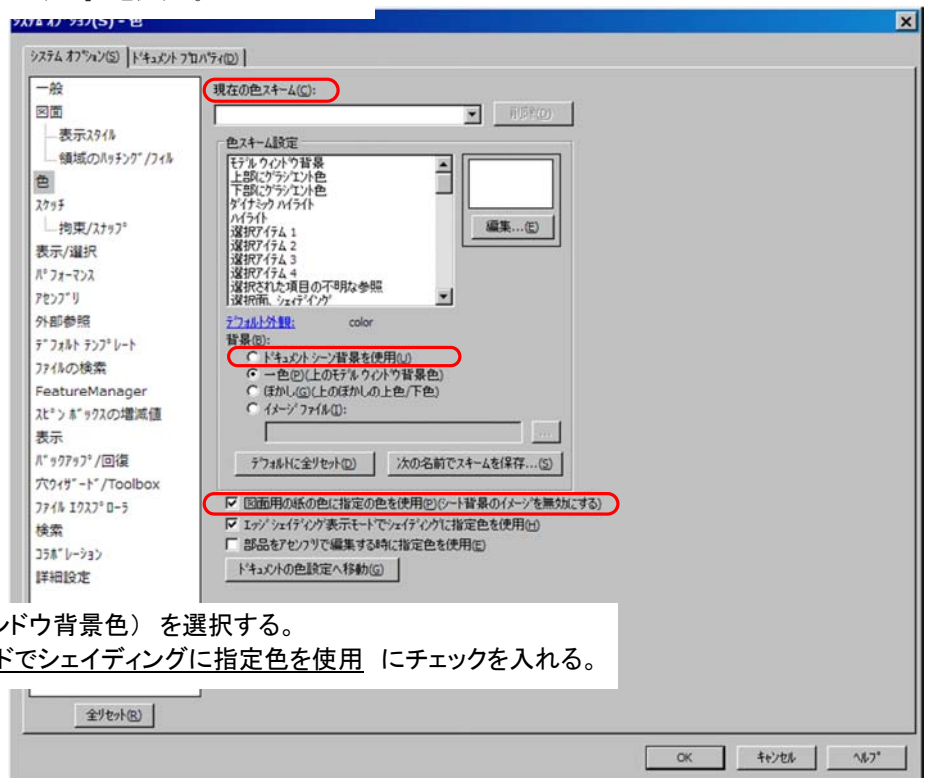
- 寸法配置でスピンドックスを同時に表示 にチェックを入れる。
- ドキュメントの自動最大表示 にチェックを入れる。



システムオプション／色

■ 画面の色を設定します

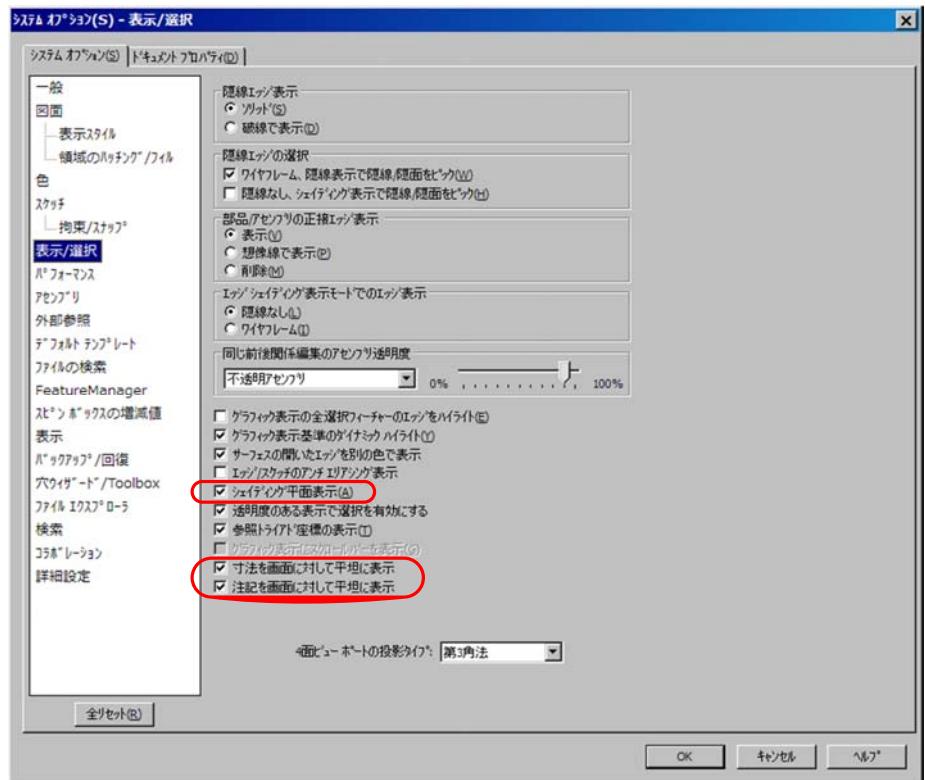
- 現在の色スキーム
 - ◆ モデルウィンドウ背景／編集／パレットから「白色」を選択する。
 - ◆ 図面、用紙の色／編集／パレットから「白色」を選択する。
 - ◆ 図面、背景／編集／パレットから「白色」を選択する。



- 背景／一色(上のモデルウィンドウ背景色) を選択する。
- エッジシェイディング表示モードでシェイディングに指定色を使用 にチェックを入れる。

■ 画面の表示を設定します

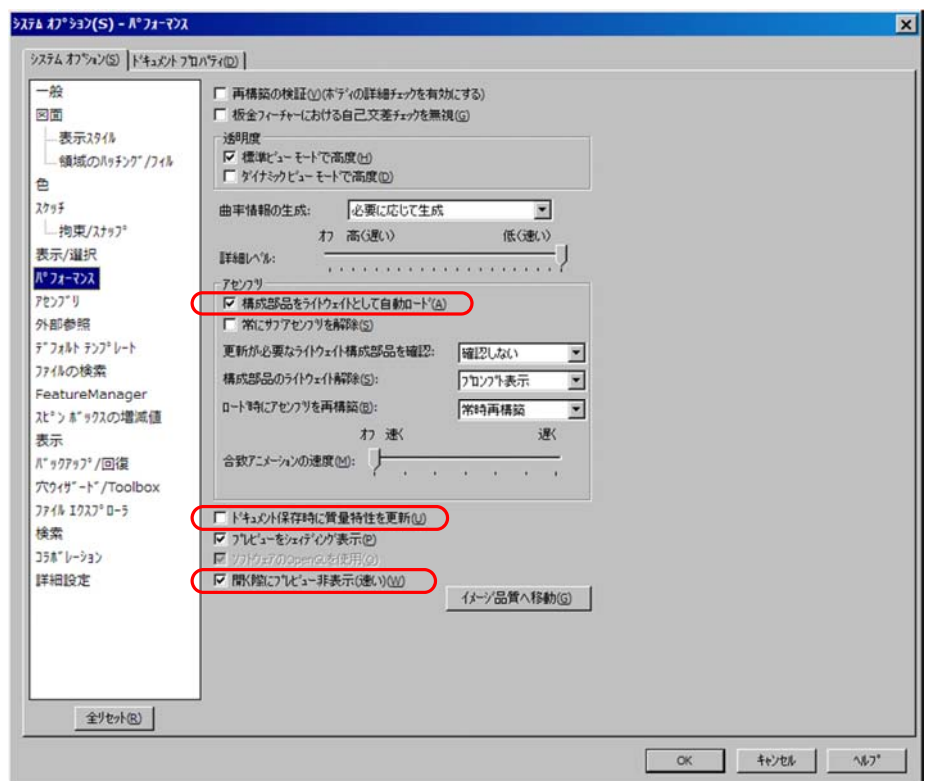
- シェイディング平面表示 にチェックを入れる。 ※基準平面の表(緑) / 裏(赤)が判別できるようになります。
- 寸法を画面に対して平坦に表示 にチェックを入れる。
- 注記を画面に対して平坦に表示 にチェックを入れる。



システムオプション / パフォーマンス

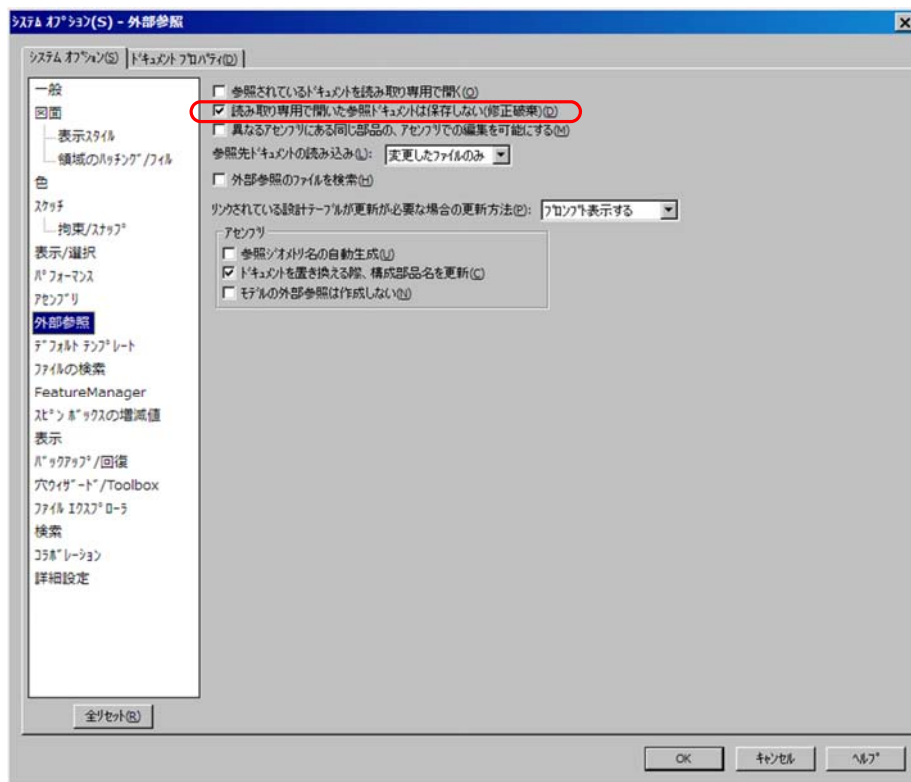
■ システムのパフォーマンスを設定します

- アセンブリ / 構成部品をライトウェイトとして自動ロード にチェックを入れる。
- ドキュメント保存時に質量特性を更新 のチェックを外す。
- 開く際にプレビュー非表示 にチェックを入れる。



■ 参照したファイルの扱いを設定します

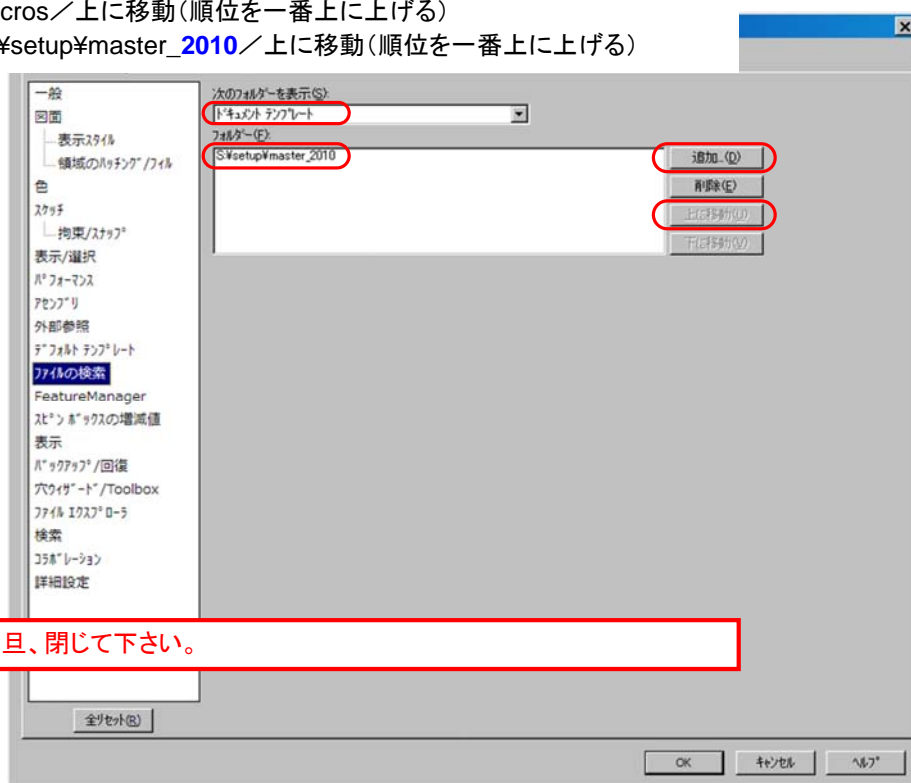
- 読み取り専用で開いた参照ドキュメントは保存しない(修正破棄) にチェックを入れる。



システムオプション／ファイルの検索

■ ファイルを検索する場所を指定します

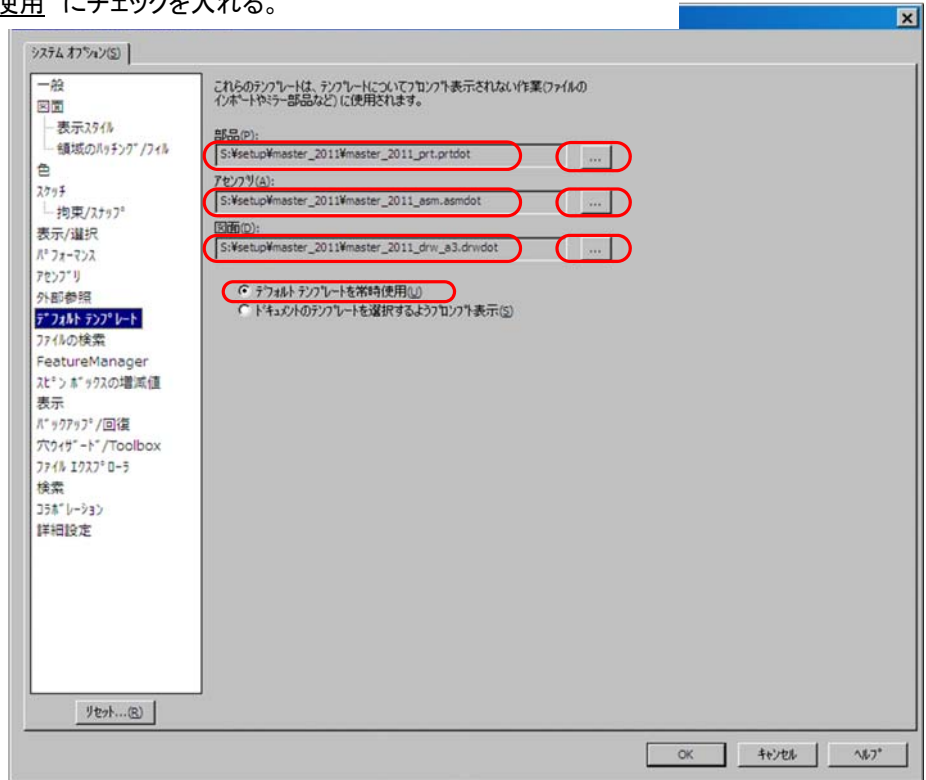
- ドキュメントテンプレート／追加／S:\%setup%\master_2010／上に移動(順位を一番上に上げる)
- 部品表のテンプレート／追加／S:\%setup／上に移動(順位を一番上に上げる)
- ユーザ定義プロパティファイル／追加／S:\%setup
- マクロ／追加／S:\%setup%\macros／上に移動(順位を一番上に上げる)
- シートフォーマット／追加／S:\%setup%\master_2010／上に移動(順位を一番上に上げる)



- OK／オプション設定画面を一旦、閉じて下さい。

■ デフォルトテンプレートを指定します

- デフォルトテンプレート／部品／...参照／S:\%setup%\master_2011_prt.prtidot
- デフォルトテンプレート／アセンブリ／...参照／S:\%setup%\master_2011_asm.asmdot
- デフォルトテンプレート／図面／...参照／S:\%setup%\master_2011_drw_a3.drwdot
- デフォルトテンプレートを常時使用 にチェックを入れる。



21 September 2011

CADIC Corporation

13

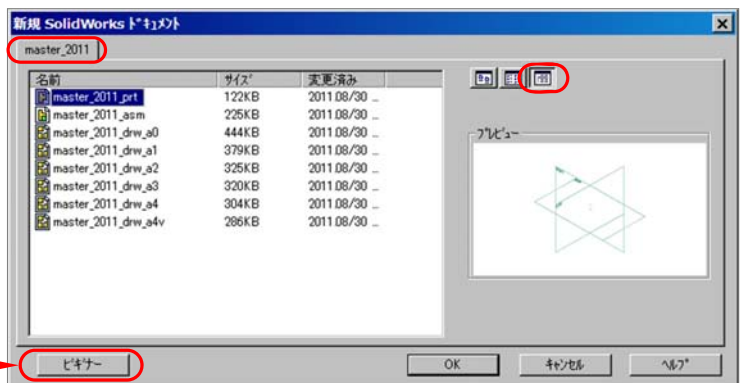
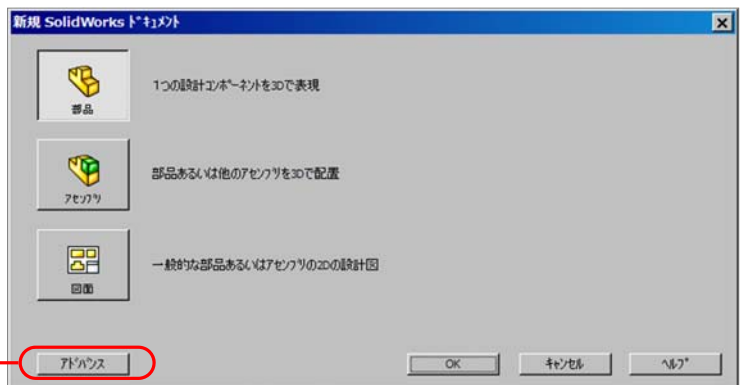
ファイル／新規

■ 新規ファイルの作成を確認します。(ビギナーモードとアドバンスモードの切替)

- アドバンスモードを使用します。
- ファイル／新規／アドバンス(ビギナーモードになっている場合)
 - ◆ master_2011/master_2010_prt/OK

■ テンプレートの使用

- 部品テンプレート
 - ◆ master_2011_prt
- アセンブリテンプレート
 - ◆ master_2011_asm
- 図面テンプレート
 - ◆ master_2011_drw_a0
 - ◆ master_2011_drw_a1
 - ◆ master_2011_drw_a2
 - ◆ master_2011_drw_a3
 - ◆ master_2011_drw_a4
 - ◆ master_2011_drw_a4v

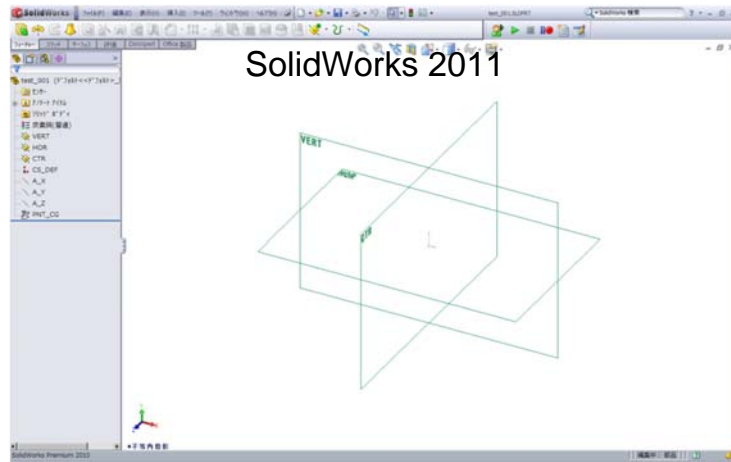


21 September 2011

CADIC Corporation

14

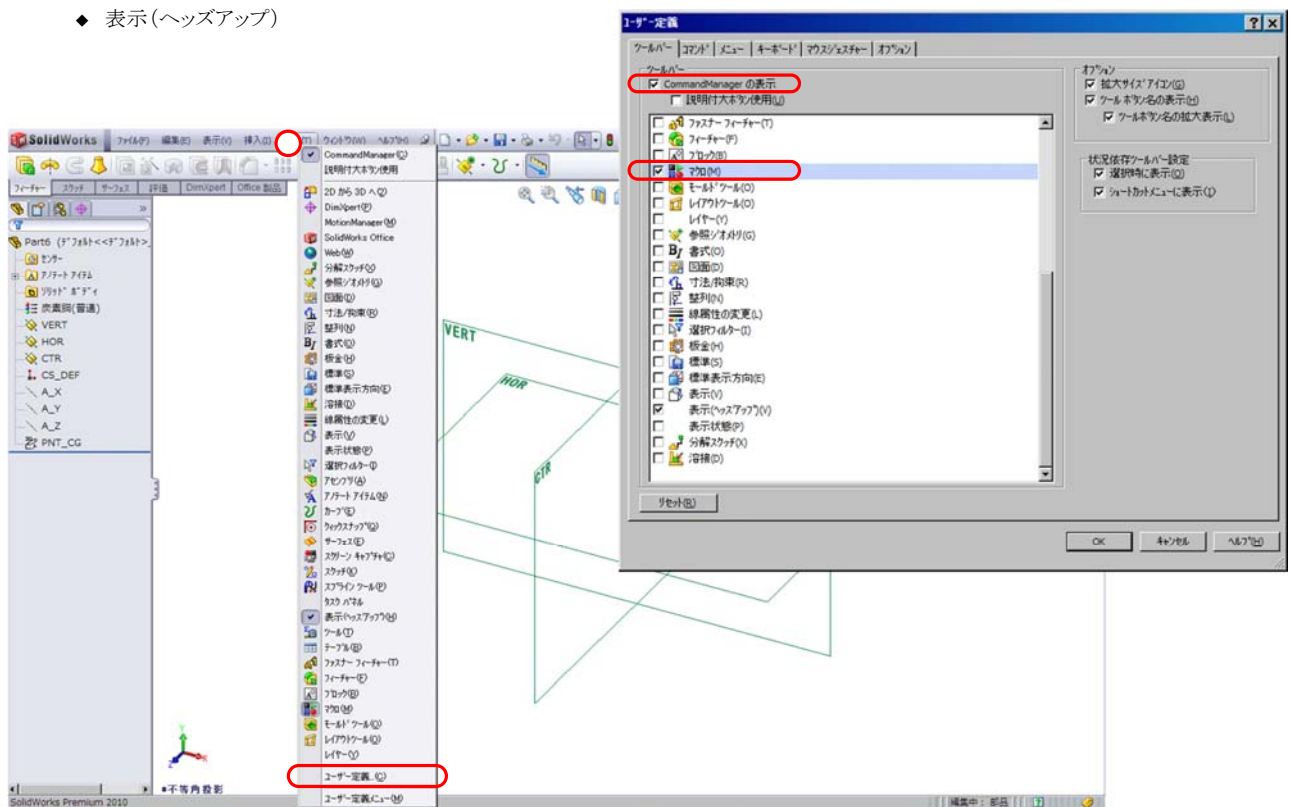
ツールバーとアイコンの設定



表示／ツールバー／ユーザ定義

■ よく使用するアイコンをツールバーに表示します

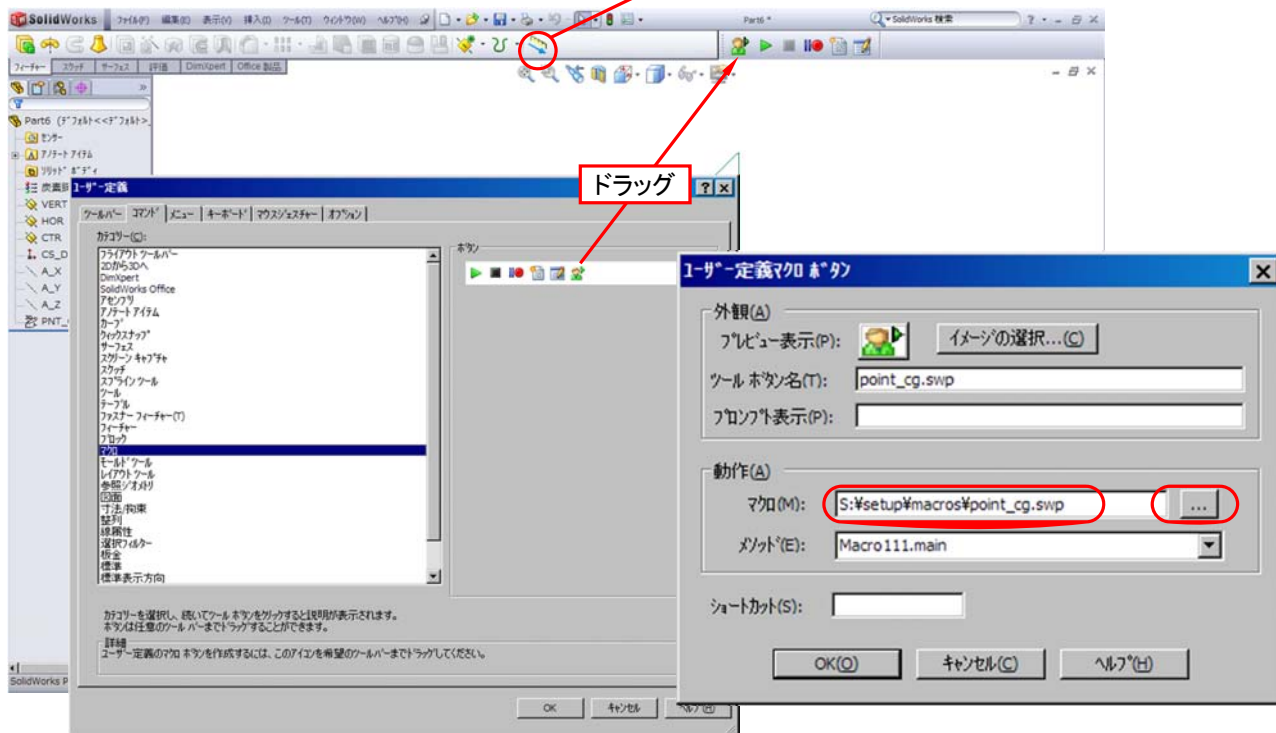
- 右クリック／ユーザ定義(下記の項目にチェックを入れる)
 - ◆ Command Manager の表示
 - ◆ マクロ
 - ◆ 表示(ヘッズアップ)



■ マクロボタンの設定を行います

- 右クリック／ユーザ定義／コマンド／マクロ(マクロボタンの設定を行います)
 - ◆ 新規マクロボタンをメニューに追加(ドラッグ)
 - ◆ 動作／マクロ／...参照／S:\\$setup¥macros¥point_cg.swp
- Instant 3D 機能は無効にしておきます。

Instant 3D 機能は無効
(ボタンを押さない状態)



環境設定の保存と回復

■ 環境設定の保存

- SolidWorks を終了してから、Administrator 権限で実行して下さい。
- SolidWorks ツール／設定のコピーウィザード／設定の保存／次へ／
- ...参照／保存先を指定(例:S:\\$setup¥swSettings_2011.sldreg)／完了

